

日本技術士会防災支援委員会 第16回全国防災連絡会議開催報告

公益社団法人日本技術士会は、2020年9月1日に第16回全国防災連絡会議（主催 防災支援委員会）を開催した。

全国防災連絡会議はこれまで技術士全国大会の併催行事として開催されてきたが、今年の技術士全国大会（名古屋市）がCOVID-19の影響により開催延期となったため、独立行事として防災の日に合わせて開催したものである。会議は多人数の集合を避けるため、日本技術士会本部のある東京都港区（機械振興会館）を配信基地としたWEB会議方式で開催され、北海道から沖縄までほぼ全ての都道府県から250名以上の参加者を得る盛会となった。

会議は、寺井会長の開催挨拶に始まり、まず持田委員（九州本部防災委員長）の2020年九州地方豪雨被害の緊急報告、野村防災支援委員会委員長の委員会活動報告が行われた。持田委員長の報告では九州南部はこれまでも度々豪雨被害を受けていること、士業連携を活かした浸水家屋の初期対応講習会、相談会の開催状況などが報告された。野村委員長からは2019年19号台風の被災復興のために緊急設置した復興支援プラットフォームの活動や、技術士・日本技術士会の今後の活動を模索するPE-Bosai2020プロジェクトについて報告が行われた。その後は、各地域本部と県支部有志の活動報告が行われ、特に茨城県支部からは現在実施中の九州豪雨支援の現場からの生中継で活動報告が行われた。

会議後半は、地域本部・県支部報告の発表者を中心としたWEB討論が行われ、地域本部・県支部が連携した防災ネットワークをどのように構築するか、さらに事前対応の重要性と技術士の果たす役割について一般参加者からのWEB会議機能を使った質問も受けつつ討議が行われた。

日本技術士会および防災支援委員会では大規模WEB行事は本会議が初めての取り組みであったが、参加者からは概ね好評で、特に地方在住の会員からはこのような機会をさらに増やして欲しいとの感想が寄せられた。

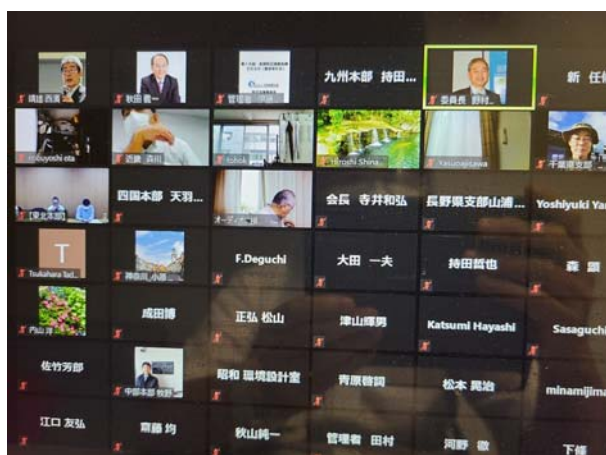


写真1 WEB会議画面および配信基地の様子

当日参加者数 250名（10分未満の参加者を除く） 申込み総数 338名

当日参加率 74%

以上（文責 野村）